

東京大推薦入試・京都大特色入試 出願状況

河合塾

2016/11/14

2017年度の東京大推薦入試、京都大特色入試の出願状況が明らかになった。東京大推薦入試の志願倍率は全学で1.7倍、京都大特色入試の志願倍率は同じく3.0倍であった。詳細は以下の通りである。

■東京大推薦入試の出願者は173名、昨年と同数

実施2年目となる東京大の推薦入試は、今月4日に出願が締め切られた。2017年度は約100名の募集人員に対し、173名が出願した【表1】。奇しくも昨年の志願者数と同数となった。ただし、東京大の発表によると、出願校数は昨年の151校から159校に増加した。昨年は推薦入試への出願がなかった高校からも出願があり、志願者数の変動はなかったものの、新たな「掘り起し」にはつながっているという。

なお、現時点の数字は出願書類の受領数であり、この後、学部ごとに出願資格等の審査が行われ、志願者数が確定する。

学部別の状況を見ていくと、志願倍率（出願者数÷募集人員）が2倍を超えているのは法学部（2.5倍）教養学部（4.8倍）、理学部（2.5倍）、医学部医学科（2.7倍）の4学部（学科）である。一方、1倍を切っているのは薬学部（0.6倍）の1学部である。薬学部では昨年も1倍を切っていた。

この後、1次選考が実施され、その結果は12月1日に発表される。1次合格者には12月17・18日に学部による面接等が実施され、センター試験を経て、来年2月8日に合格者が発表される。

【表1】東京大学推薦入試 出願状況

学部・学科	募集人員	出願者数		志願倍率
		16年度	17年度	
法学部	10名程度	24	25	2.5倍
経済学部	10名程度	7	14	1.4倍
文学部	10名程度	10	13	1.3倍
教育学部	5名程度	9	6	1.2倍
教養学部	5名程度	17	24	4.8倍
工学部	30名程度	47	42	1.4倍
理学部	10名程度	32	25	2.5倍
農学部	10名程度	12	11	1.1倍
薬学部	5名程度	4	3	0.6倍
医学部 医学科	3名程度	9	8	2.7倍
医学部 健康総合科学科	2名程度	2	2	1.0倍
計	100名程度	173	173	1.7倍

※東京大学発表資料より作成、出願者数は受領通数（11月14日現在）

※志願倍率（志願者数÷募集人員）は出願者数÷募集人員で算出

■京都大特色入試の志願者は374名、昨年より大幅増加

京都大の特色入試も実施2年目となる。特色入試は学部により学力型AO、推薦、後期日程に実施方式が分かれている。このほど明らかになったのは、後期日程で実施する法学部以外の志願者数と10月に出願を締め切っていた一部の学力型AOを実施する学部の1次選考合格者数である【表2】。2017年度は、125名の募集人員に対し374名が出願した（後期日程で実施する法学部除く）。

学部別の状況を見ていくと、4.0倍を超えているのは文学部（4.2倍）、理学部（9.4倍）、工学部地球工学科（4.3倍）農学部の資源生物科学科（8.3倍）、森林科学科（4.3倍）、食品生物科学科（5.7倍）の学部・学科である。一方、1倍を切る学部・学科はないものの、工学部工業化学科、医学部医学科、薬学部では1.0

倍となった。

京都大特色入試は2017年度よりいくつかの入試変更を実施する。主なものを挙げると、農学部で1学科のみの実施から全学科実施に拡大する。医学部人間健康科学科、工学部では募集人員が増員となる。また、人間健康科学科では、既卒生（1浪まで）の出願が可能になったほか、工学部では一部学科の推薦要件に見られた「国際的な科学競技会出場者」といった文言がなくなった。いずれも対象者を拡大する方向での変更であり、これらの変更が志願者数増加につながっている。

なお、学力型AOのうち、10月に出願を締め切っていた教育学部、理学部、医学部（人間健康科学科）では1次合格者数が発表された。このうち教育学部では、今年も1次選考の段階で10名程度まで絞り込まれた。教育学部の2次選考は課題と口頭試問であるが、時間をかけて丁寧に選抜しようとする、この人数程度が望ましいということだろう。

この3学部では11月中に2次選考が行われ、教育学部、理学部は12月15日に2次選考の合格者発表が行われる。最終合格者は、3学部ともセンター試験を経て2月8日に発表される。

この他の学部も11月末に1次選考の合格発表があった後、12月中に小論文、面接などの2次選考が行われる。最終合格は、センター試験を課さない医学部医学科で1月11日に、センター試験の成績を利用する学部ではその結果を踏まえて2月8日に発表される。

【表2】京都大学特色入試 出願状況

学部・学科-専攻		17年度 募集人員	志願者数		志願倍率	第1次選考 合格者数
			16年度	17年度		
総合人間学部		5名	29	16	3.2倍	
文学部		10名	40	42	4.2倍	
教育学部		6名	25	21	3.5倍	11
経済学部		25名	77	64	2.6倍	
理学部		5名	59	47	9.4倍	47
医学部	医学科	5名	5	5	1.0倍	
	人間-先端看護科学	20名	13	33	1.7倍	32
	人間-理学療法学	5名	7	16	3.2倍	16
	人間-作業療法学	5名	2	7	1.4倍	7
薬学部	薬科学科	3名	2	3	1.0倍	
工学部	地球工学科	3名	0	13	4.3倍	
	電気電子工学科	5名	12	11	2.2倍	
	情報学科	3名	1	4	1.3倍	
	工業化学科	7名	0	7	1.0倍	
農学部	資源生物科学科	3名	—	25	8.3倍	
	応用生命科学科	3名	—	9	3.0倍	
	地域環境工学科	3名	—	11	3.7倍	
	食料・環境経済学科	3名	20	10	3.3倍	
	森林科学科	3名	—	13	4.3倍	
	食品生物科学科	3名	—	17	5.7倍	
計		125名	292	374	3.0倍	113

※京都大学発表資料より作成（11月8日現在、後期日程で実施する法学部は割愛）

※医学部人間健康科学科は2017年度より組織再編予定、表は再編後のコース名を掲載

※志願倍率は志願者数÷募集人員